

発達支援ユニコーン・発達支援ユニコーンⅡ
指定放課後等デイサービス/児童発達支援・保育所等訪問支援事業
グラウンドデザイン

発達支援ユニコーン・発達支援ユニコーンⅡ グラウンドデザイン

自己理解の充実	総合的な生活支援	専門的な支援	地域連携
発達支持的な声掛けにより安心感を得る	生活に必要な資質や能力について見立てる、手立てを考える		生活拠点と連携を図りインクルーシブな支援をする
自己理解に向けて支援者と相談を行う	生活に必要な資質や能力を成長させるため日常生活指導を行う		地域交流を積極的に図る
自己開示を促す	生活に必要な資質や能力を成長させるため専門支援員による指導を行う		障害の有無にかかわらず、共存共栄感覚を養う
困ったときに相談できるようにする	生活に必要な資質や能力、支援の内容について保護者や関係者に理解を促す		積極的に会議等に参加する

5領域

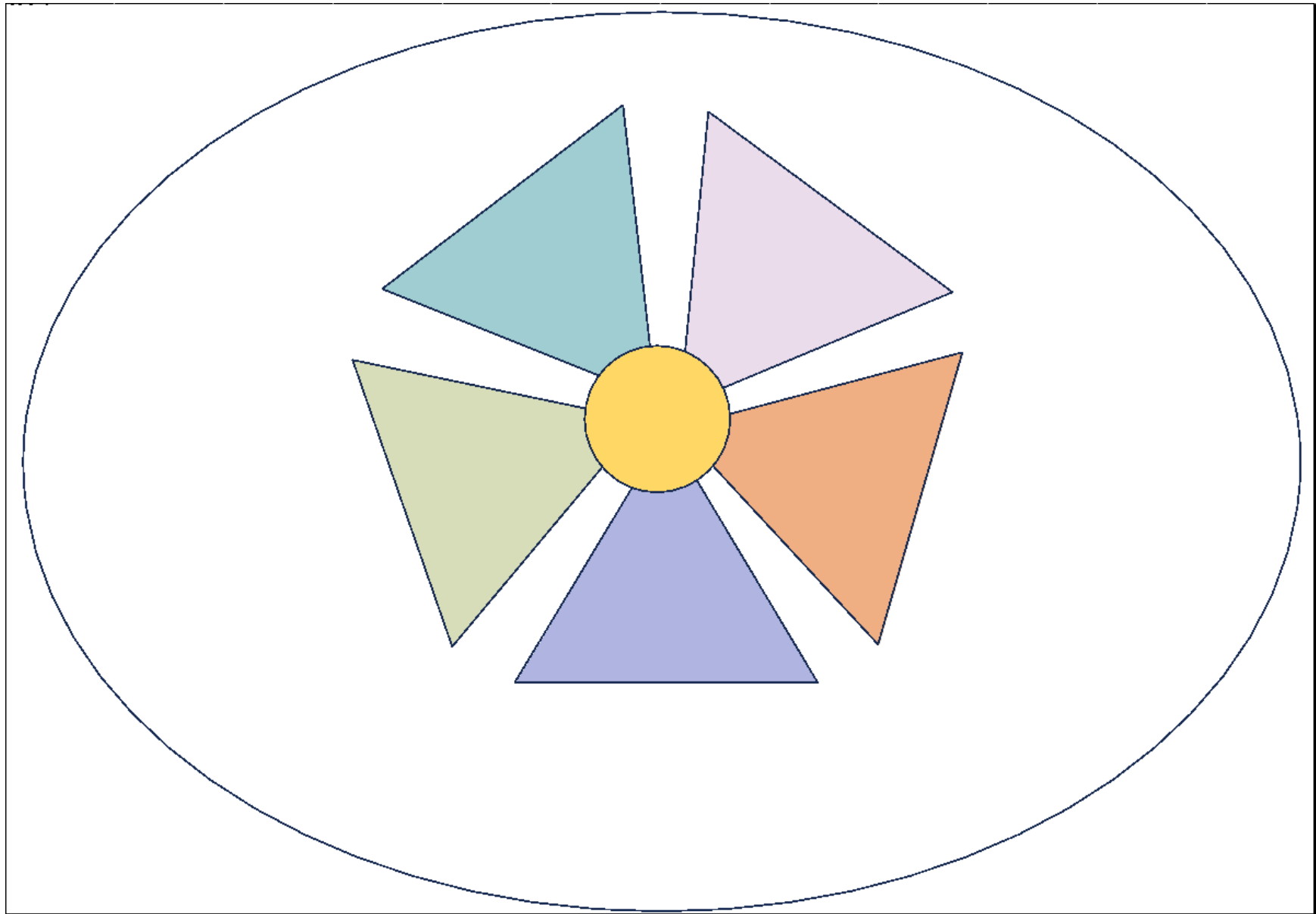
「言語・コミュニケーション」		「運動・感覚」		「人間関係・社会性」	
(c)	コミュニティ感覚の向上	(a)	姿勢と運動・動作の向上	(a)	生活の中で様々な遊びや会話を通して
(d)	コミュニケーション機会を増やす	(b)	姿勢と運動・動作の補助手段の活用		楽しみを得ていく
「健康・生活」		(c)	保有する感覚の総合的な活用	(b)	身近な人と親密な関係を築き、その関係を
(a)	生活における困りごとを相談する	「認知・行動」		を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成する	
(b)	健康状態の確認、維持・改善	(a)	認知の発達と行動の習得		
		(b)	空間・時間、数等の概念形成の習得		
		(c)	対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得		
		「人間関係・社会性」			
		(c)	愛着形成の基礎を養う		
		(d)	感覚遊びから象徴遊びへの支援		
		「言語・コミュニケーション」			
		(a)	言語発達のアセスメント		
		(b)	言語に関わる受容と表出の支援		
		「健康・生活」			
		(c)	生活リズムや生活習慣の形成		
		(d)	基本的な生活スキルの獲得		



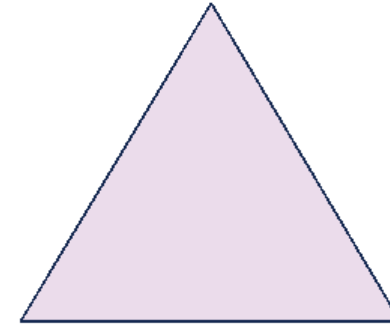
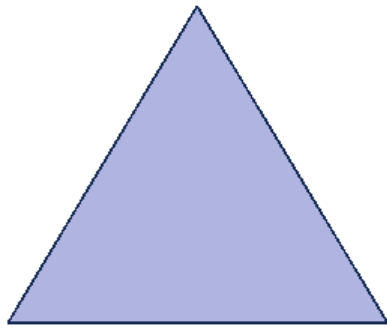
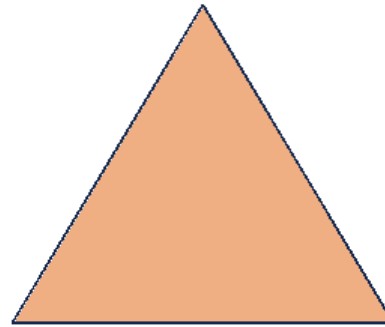
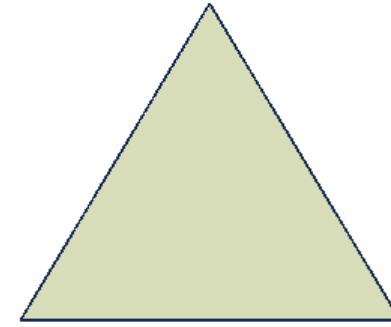
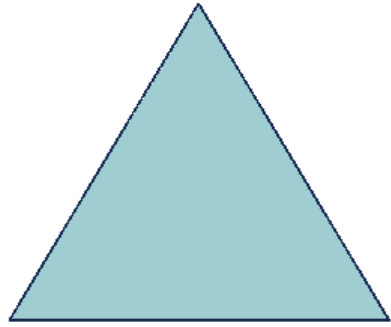
具体的手段、目標

○安心した居場所を提供する	○理学療法士等の専門的職員が、専門的支援計画を策定する	○保護者または保護者間への連携
○相談できる信頼関係作り	○理学療法士等の専門的職員が、専門的支援計画に則り支援を行う	○子どもの所属する施設への連携
○子どもや保護者のおかれている生活を含めた情報収集やその整理を行う	○児童発達支援管理責任者が上記を満たすような支援の企画を用意するまたはそれに必要な知識や経験を有する専門家を招聘する	○地域行事への参加
○個別支援計画に則り相談を定期的に行う	○個別の支援計画に則り相談を定期的に行う	○普段からの積極的な挨拶活動
	○職員が専門的支援技術の習得等に必要の学びを継続的に行う	○事業所活動計画に則り地域との連携を模索する
		○多様性文化に関する職員研修を行う

5領域表



5領域の特徴



児童発達管理責任者を中心に、保育士、児童指導員等による生活全般にわたる支援の他、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士等による専門的支援を受けることができます。